

（第1面）



産業廃棄物処理計画書

令和 6 年 6 月 1 5 日

茨城県知事 殿

提出者

住 所 茨城県つくば市春日 3 - 1 - 4  
氏 名 住友林業㈱住宅事業本部 つくば支店  
支店長 大門 康孝  
(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)  
電話番号 029-853-8511

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 12 条第 9 項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	住友林業㈱住宅事業本部 つくば支店
事業場の所在地	茨城県つくば市春日 3 - 1 - 4
計画期間	令和 6 年（2024 年）4 月 1 日～令和 7 年（2025 年）3 月 31 日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	D 0 6（総合工事業）
②事業の規模	売上高（連結）1,733,169 百万円（2023/12 期）
③従業員数	住友林業㈱5,235 名（2024/4）（つくば支店 41 名）
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙 2 参照（産業廃棄物の一連の処理の工程による）

（日本工業規格 A 列 4 番）

(第2面)～(第5面)は、別紙に記載

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図)			
別紙3参照			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度(2024年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排出量	別紙のとおり	t
	(これまでに実施した取組)		
新築工事において8種類の分別を徹底し再資源化の促進を図る 解体工事においては分別解体を徹底し再資源化の促進を図る			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排出量	別紙のとおり	t
	(今後実施する予定の取組)		
同上、産廃の分別を徹底する 同上、分別解体を徹底する			
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)		
建設系混合廃棄物については、適正に分別することにより削減を図る。			
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)		
がれき類に関しては、コンクリートがら、ガラス陶磁器くず等適正に分別を徹底する。			

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（                      年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（                      年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

## (第4面)

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（                      年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（2024年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	全 処 理 委 託 量	別紙のとおり	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	別紙のとおり	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	別紙のとおり	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	全 処 理 委 託 量	別紙のとおり	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	別紙のとおり	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	別紙のとおり	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が 1,000 トン以上の事業場ごとに 1 枚作成すること。
- 2 当該年度の 6 月 30 日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第 6 条の 11 第 2 号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 15 条の 3 の 3 第 1 項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が 3 以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

## 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙3参照(管理体制図による)

## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度(令和5年度)実績】						
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック (廃タイヤ、発泡)	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス・コンク リート・陶磁器く
	排 出 量	6.15t	2.77t	230.01t	7.06t	18.23t	153.37t
	産業廃棄物の種類	がれき類(コンク リがら、廃アス	建設混合廃棄 物(安定型、管	石綿含有産業 廃棄物			
	排 出 量	770.54t	47.91t	5.88t			
	(これまでに実施した取組) 新築工事において8種類の分別を徹底し再資源化の促進を図る 解体工事においては分別解体を徹底し再資源化の促進を図る						
②計画	【目標】						
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック (廃タイヤ、発泡)	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス・コンク リート・陶磁器く
	排 出 量	5.54t	2.50t	207.00t	6.30t	16.40t	138.00t
	産業廃棄物の種類	がれき類(コンク リがら、廃アス	建設混合廃棄 物(安定型、管	石綿含有産業 廃棄物			
	排 出 量	693.50t	43.00t	5.30t			
	(今後実施する予定の取組) 同上、産廃の分別を徹底する 同上、分別解体を徹底する						

## 産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・余剰材の削減 ・分別処理の徹底
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・床養生材のリサイクル ・外部使用木材のプレカット化 ・屋根材のプレカット化 ・サイディングのプレカット化

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和      年度）実績】						
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック (廃タイヤ、発泡)	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器く
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量						
	産業廃棄物の種類	がれき類(コンクリがら、廃アス	建設混合廃棄物(安定型、管	石綿含有産業廃棄物			
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量						
	(これまでに実施した取組)						
②計画	【目標】						
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック (廃タイヤ、発泡)	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器く
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量						
	産業廃棄物の種類	がれき類(コンクリがら、廃アス	建設混合廃棄物(安定型、管	石綿含有産業廃棄物			
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量						
	(今後実施する予定の取組)						

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和      年度）実績】						
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック (廃タイヤ、発泡)	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器く
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量						
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量						
	産業廃棄物の種類	がれき類(コンクリがら、廃アス	建設混合廃棄物(安定型、管	石綿含有産業廃棄物			
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量						
②計画	【目標】						
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック (廃タイヤ、発泡)	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器く
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量						
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量						
	産業廃棄物の種類	がれき類(コンクリがら、廃アス	建設混合廃棄物(安定型、管	石綿含有産業廃棄物			
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量						
(今後実施する予定の取組)							



## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和 年度）実績】						
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック (廃タイヤ、発泡)	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス・コンク リート・陶磁器く
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を 行った産業廃棄物の量						
	産業廃棄物の種類	がれき類(コンク リがら、廃アス	建設混合廃棄 物(安定型、管	石綿含有産業 廃棄物			
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を 行った産業廃棄物の量						
(これまでに実施した取組)							
②計画	【目標】						
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック (廃タイヤ、発泡)	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス・コンク リート・陶磁器く
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を 行う産業廃棄物の量						
	産業廃棄物の種類	がれき類(コンク リがら、廃アス	建設混合廃棄 物(安定型、管	石綿含有産業 廃棄物			
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を 行う産業廃棄物の量						
(今後実施する予定の取組)							

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】						
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック (廃タイヤ、発泡 スチロール等)	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス・コンク リート・陶磁器く ず(石膏ボード
	全処理委託量	6.15t	2.77t	230.01t	7.06t	18.23t	153.37t
	優良認定処理業者への処理委託量			41.55t			0.78t
	再生利用業者への処理委託量	6.15t	2.77t	230.01t	7.06t	18.23t	153.37t
	認定熱回収業者への処理委託量						
	認定熱回収業者以外の熱回収を 行う業者へ処理委託量						
	産業廃棄物の種類	がれき類(コンク リがら、廃アス ファルト、レンガ	建設混合廃棄 物(安定型、管 理型)	石綿含有産業 廃棄物			
	全処理委託量	770.54t	47.91t	5.88t			
	優良認定処理業者への処理委託量			4.53t			
	再生利用業者への処理委託量	770.54t	47.91t				
	認定熱回収業者への処理委託量						
	認定熱回収業者以外の熱回収を 行う業者へ処理委託量						
	(これまでに実施した取組)						
	処分場視察により産業廃棄物の適正処理、管理を監視指導した						

②計画	【目標】						
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック (廃タイヤ、発泡スチロール等)	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず/石膏ボード
	全処理委託量	5.54t	2.50t	207.00t	6.30t	16.40t	138.00t
	優良認定処理業者への処理委託量	1.10t	0.50t	41.40t	1.26t	3.28t	27.60t
	再生利用業者への処理委託量	5.54t	2.50t	207.00t	6.30t	16.40t	138.00t
	認定熱回収業者への処理委託量						
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者へ処理委託量						
	産業廃棄物の種類	がれき類(コンクリガラ、廃アスファルト、レンガ)	建設混合廃棄物(安定型、管理型)	石棉含有産業廃棄物			
	全処理委託量	693.50t	43.00t	5.30t			
	優良認定処理業者への処理委託量		8.60t	4.10t			
	再生利用業者への処理委託量	693.50t	43.00t				
	認定熱回収業者への処理委託量						
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者へ処理委託量						
	(今後実施する予定の取組)						
	処分場視察により産業廃棄物の適正処理、管理を監視指導の継続を行う						
	※事務処理欄						

## 産業廃棄物処理計画書（産業廃棄物の実績及び計画の量）

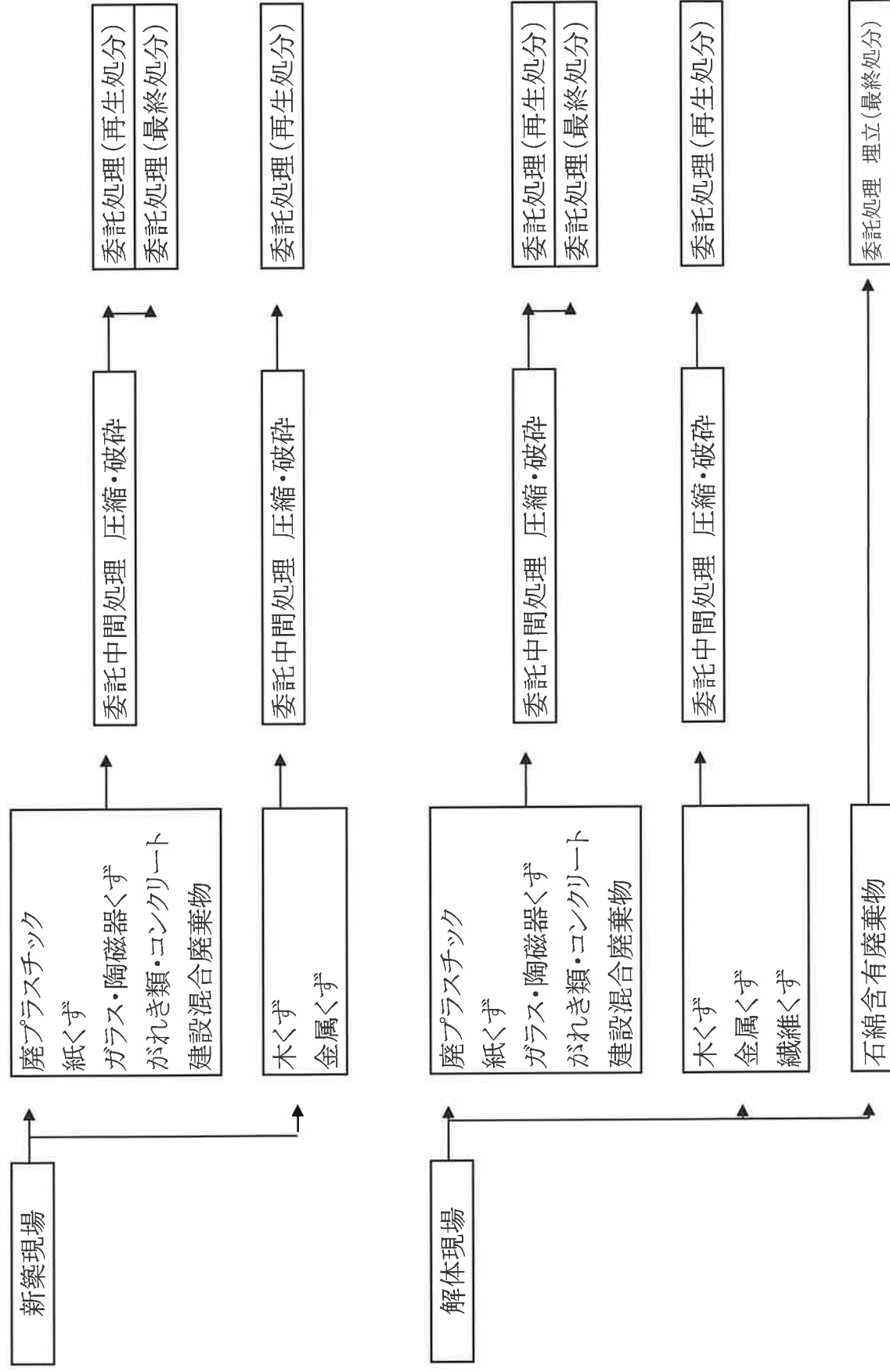
処 理 事 項		産 業 廃 棄 物 の 種 類											合 計
		廃プラスチック等(廃タイヤ、発泡スチロール等)	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず(石炭ぜり屑等)	がれき類(コンクリート、廃アスファルト等)	建設混合廃棄物(安定型、管理型)	石綿含有産業廃棄物			
排出抑制に関する事項	前年度排出量(実績)	6.15t	2.77t	230.01t	7.06t	18.23t	153.37t	770.54t	47.91t	5.88t			1,241.92t
	本年度排出量(計画)	5.54t	2.50t	207.00t	6.30t	16.40t	138.00t	693.50t	43.00t	5.30t			1,117.54t
自ら行う(行った)再生利用に関する事項	前年度実績												
	本年度計画(目標)												
自ら行う(行った)中間処理に関する事項	前年度実績												
	本年度計画(目標)												
自ら行う(行った)埋立処分又は海洋投入処分に 関する事項	前年度実績												
	本年度計画(目標)												
全処理委託量	前年度実績	6.15t	2.77t	230.01t	7.06t	18.23t	153.37t	770.54t	47.91t	5.88t			1,241.92t
	本年度計画(目標)	5.54t	2.50t	207.00t	6.30t	16.40t	138.00t	693.50t	43.00t	5.30t			1,117.54t
優良認定処理業者への処理委託量	前年度実績			41.55t			0.78t			4.53t			46.86t
	本年度計画(目標)	1.10t	0.50t	41.40t	1.26t	3.28t	27.60t		8.60t	4.10t			87.84t
再生利用業者への処理委託量	前年度実績	6.15t	2.77t	230.01t	7.06t	18.23t	153.37t	770.54t	47.91t				1,236.04t
	本年度計画(目標)	5.54t	2.50t	207.00t	6.30t	16.40t	138.00t	693.50t	43.00t				1,112.24t
認定熱回収業者への処理委託量	前年度実績												
	本年度計画(目標)												
認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	前年度実績												
	本年度計画(目標)												

## 【記載方法】

- 各産業廃棄物の種類ごとに該当の箇所の上段に前年度の実績（現状）を、下段に本年度の目標（計画）の産業廃棄物の量を記載してください。
- 「自ら行う再生利用に関する事項」の欄は、自ら直接再生利用した量と中間処理した後再生利用した量を記載してください。
- 「自ら行う埋立処分又は海洋投入処分に関する事項」は、自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量と自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量を記載してください。
- 「処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量及びそれぞれの内訳を記載してください。

## 別紙2

### 産業廃棄物の一連の処理の工程



【別紙3】

統括責任者：住宅事業本部長	
安全・環境・検査部長 環境グループ	住宅事業本部 副本部長 住宅事業本部 各部長 合議
排出事業所	
支社・支店	
支社長・支店長	
産廃適正処理推進会議 (於：工事店会議)	
管理責任者	
生産グループマネージャー	
管理担当者	支社・支店 生産グループ担当者
支社・支店 総務グループマネージャー	産業廃棄物事務センター (事務代行)
協力工事店・産廃関連委託業者	